



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月13日

上場会社名 ビープラッツ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4381 URL <http://www.bplats.co.jp/>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤田 健治  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 齊藤 純一 (TEL) 03-6687-8712  
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	96	—	△49	—	△50	—	△50	—
30年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	△45.31	—
30年3月期第1四半期	—	—

- (注) 1. 平成30年3月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成30年3月期第1四半期の数値及び平成31年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。  
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	615	434	70.6
30年3月期	476	237	49.9

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 434百万円 30年3月期 237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	—	—	—	—
31年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	311	32.7	5	—	3	—	2	—	2.18
通期	815	45.3	177	281.0	175	239.9	147	263.4	130.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	1,131,980株	30年3月期	1,009,480株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	—株	30年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	1,122,177株	30年3月期1Q	949,373株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は平成31年8月13日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)におけるわが国経済は、企業収益、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復傾向にあるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

当社の属する情報サービス産業では、ビッグデータの活用、AIやIoTの発展等、業界を取り巻く環境は引き続き変化を続けております。なかでも当社が注力する国内IoT市場は、2020年まで14.9%の年間平均成長率で成長し、2022年には12兆4,634億円に達すると予測されております(IDC Japan株式会社「国内IoT市場 産業分野別/ユースケース別予測、2018年~2022年」)。加えて、クラウド業界、通信業界を含め、様々な業界のサブスクリプション型ビジネスが活性化してきているものと認識しております。

このような環境の中、販売パートナー企業8社(平成29年6月末時点では3社)との連携強化により、新規顧客獲得に向けた拡販施策に注力するとともに、前事業年度に販売開始した当社主力商品である「Bplats® Platform Edition」の機能強化も積極的に実施してまいりました。

更に、当社が注力するIoT、クラウド、通信の3つの重点領域での市場の更なる活性化を予測し、それら領域における当事業の成長を支えるため、組織体制強化のための人材採用等の先行投資を積極的に実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は96,933千円となりましたが、費用を吸収するまでには至らず、営業損失は49,024千円、経常損失は50,551千円、四半期純損失は50,838千円となりました。

当社の主たる事業であるサブスクリプション事業の初期費用・初期開発等の売上高は第4四半期に偏重する傾向があります。当第1四半期累計期間の売上高においても月額利用料等は順調に伸長し、月額利用料等の売上高比率が高いこと、東京証券取引所マザーズ上場に伴う費用等の一時的な費用が発生したことにより、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益、四半期純利益は損失計上となりましたが、業績は概ね期首計画通りに推移しております。

また、当社注力分野である国内IoT市場の成長の後押し、販売パートナー企業との連携強化等により、営業活動は順調であることから、現時点で通期業績予想を達成できる見通しであります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は615,689千円となり、前事業年度末に比べ138,943千円の増加となりました。これは主に現金及び預金が166,411千円増加、売掛金が77,019千円の減少、ソフトウェアが18,339千円減少し、ソフトウェア仮勘定を57,321千円計上したこと等が要因であります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は180,768千円となり、前事業年度末に比べ58,157千円の減少となりました。これは主に未払法人税等が14,361千円減少、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を除く)が14,355千円減少したこと等が要因であります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は434,920千円となり、前事業年度末に比べ197,101千円の増加となりました。これは公募及び第三者割当増資の払込みにより、資本金が123,970千円増加、資本準備金が123,970千円増加したこと、利益剰余金のマイナスが50,838千円増加したことが要因であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月11日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。

また、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	116,869	283,280
売掛金	158,277	81,258
仕掛品	—	7,254
貯蔵品	51	104
その他	18,117	18,984
流動資産合計	293,316	390,883
固定資産		
有形固定資産	11,440	14,280
無形固定資産		
ソフトウェア	134,419	116,079
ソフトウェア仮勘定	23,910	81,232
無形固定資産合計	158,330	197,312
投資その他の資産	13,658	13,212
固定資産合計	183,429	224,806
資産合計	476,745	615,689
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	22,897	27,251
1年内返済予定の長期借入金	65,762	63,263
未払法人税等	15,646	1,285
賞与引当金	—	4,563
その他	100,648	64,372
流動負債合計	204,955	160,736
固定負債		
長期借入金	26,635	12,280
資産除去債務	6,129	6,473
その他	1,207	1,279
固定負債合計	33,971	20,032
負債合計	238,926	180,768
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	352,300	476,270
資本剰余金	222,300	346,270
利益剰余金	△336,780	△387,619
株主資本合計	237,819	434,920
純資産合計	237,819	434,920
負債純資産合計	476,745	615,689

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	96,933
売上原価	37,028
売上総利益	59,904
販売費及び一般管理費	108,929
営業損失(△)	△49,024
営業外収益	
受取利息	0
営業外収益合計	0
営業外費用	
支払利息	253
株式交付費	1,266
その他	6
営業外費用合計	1,527
経常損失(△)	△50,551
税引前四半期純損失(△)	△50,551
法人税、住民税及び事業税	214
法人税等調整額	72
法人税等合計	286
四半期純損失(△)	△50,838

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年4月4日に東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場しております。上場にあたり、平成30年4月3日を払込期日とする有償一般募集(ブックビルディング方式による募集)による募集株式100,000株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ101,200千円増加しております。また、平成30年5月2日を払込期日とする有償第三者割当増資(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資)による募集株式22,500株の発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ22,770千円増加しております。

この結果、当第1四半期会計期間末において、資本金は476,270千円、資本剰余金が346,270千円となっております。